

# 2024年度都内キャッシュレス決済比率に関する 調査結果

調査結果概要	P2
都内のキャッシュレス推進について	P4
第1部 キャッシュレス決済比率	P7
第2部 補足（キャッシュレスに関する意識調査の結果）	P19

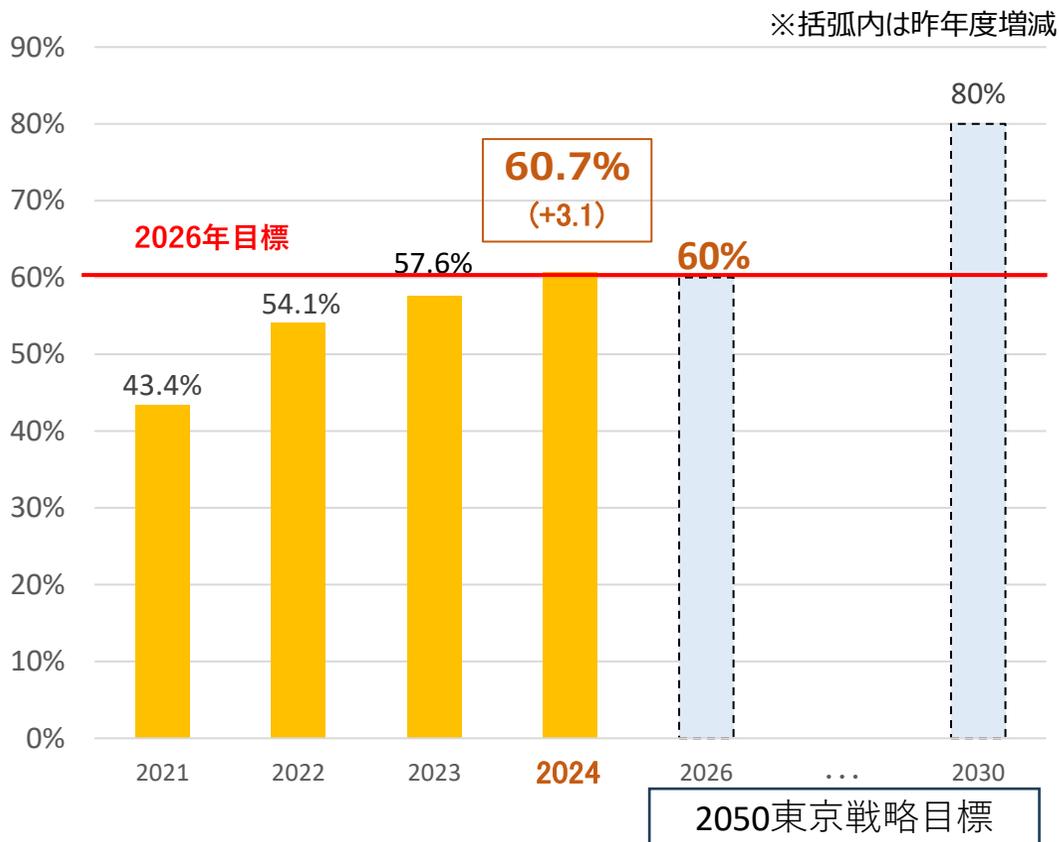
# 調查結果概要

---

# 2024年度の調査結果（概要）

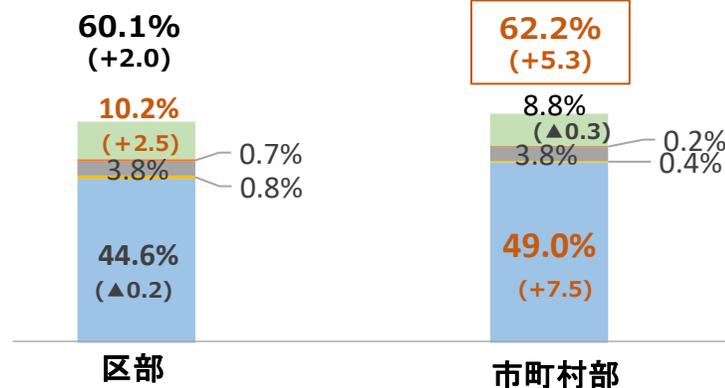
- 都内キャッシュレス決済比率は金額ベースで**60.7%（前年比+3.1%）**となり2026年目標を前倒して達成
- エリア別では、**区部**ではQRコードによる決済比率の伸び、**市町村部**ではクレジットカードによる伸びが大きい
- 年代別では、**20代と70代以上**のキャッシュレス決済比率が上昇しており、特に**20代の伸びが大きい**

## 都内キャッシュレス決済比率（金額ベース）

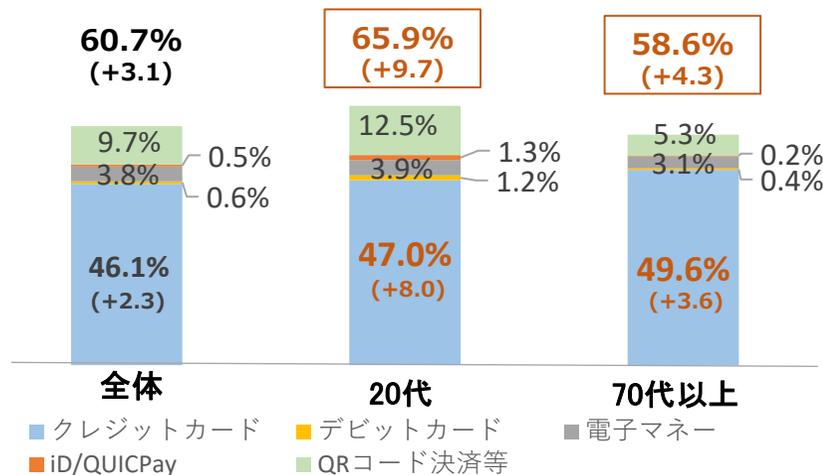


出所：都内のキャッシュレス決済比率の調査結果（東京都実施）  
 （調査方法：2021 訪問留置調査 2022～2024 ネットアンケート調査）

## エリア別



## 年代別



# 都内のキャッシュレス推進について

---

# 都内のキャッシュレス推進について

- キャッシュレス化は、都民の生活利便性や事業者の生産性向上等に寄与
- 都では、都内のキャッシュレス決済比率を「2050東京戦略」や「『国際金融都市・東京』構想2.0」においてK P Iに設定し、独自で都内のキャッシュレス決済比率の調査を実施するとともに、全庁的な取組を推進中

## 目標（金額ベース）

### 東京都の目標（都内キャッシュレス決済比率）

2025年目標	2026年目標	2030年目標
50% <b>済</b>	60% <b>済</b>	80%

### 国の目標※

2025年目標	将来目標
4割程度	80%

※参考：成長戦略フォローアップ(2019年6月21日閣議決定)  
キャッシュレス・ビジョン（2018年4月経済産業省）

## 東京都のキャッシュレス推進に寄与する取組

### ■ キャッシュレス納税の推進

納税者へのQ O Sの向上のために、口座振替やスマホ決済アプリ等、キャッシュレス納税の利便性を訴求する広報の実施

### ■ 都民利用施設のキャッシュレス化

入場料等を徴取する全ての都民利用施設（78施設）のキャッシュレス化完了

### ■ 金融リテラシー向上支援事業

個人向けの金融セミナー等でキャッシュレス活用のメリットや留意点を紹介する等、安定的な資産形成を支援

# (参考) 2024年度 都内キャッシュレス決済比率 調査方法

- 都民に対して一定期間の支払明細(金額、方法等)に関するアンケート調査実施
- 支払明細を基に、都内のキャッシュレス決済比率を算出

## キャッシュレス決済比率算出フロー

### 日常的支払、定期的支払、各々の キャッシュレス決済比率算出

- 4,570名に対して、日常的支払※1と定期的支払※2を回答してもらうネットアンケート調査を実施
- キャッシュレスに関する考え方等に関するアンケートも同時に実施  
(実施期間：2025年1月15日～29日)

※1 回答者自身が2週間に行った個々の支払  
(例：店舗やオンラインショップでの支払い)

※2 世帯が1か月間に行った支払のうち、  
定期的に支払が発生するもの  
(例：光熱費、住宅費、保険料)

### 支払全体に占める日常的支払、 定期的支払の構成比率を設定

- 日常的な支払（A）が個人ベース、定期的な支払（B）が世帯ベースのため、単純に合算して都の支払全体のキャッシュレス決済比率を算出できず
- そこで、外部統計からAとBの比率を取得し、加重平均で推計
- 全国家計構造調査（2019年）の東京都データに基づき、A : B = 63 : 37に設定

### 左記構成比率で加重平均し 都内キャッシュレス決済比率を推計

- A : B = 63 : 37で加重平均し、都内の支払全体のキャッシュレス決済比率を推計

### 調査件数

回答者数(単位:人)	4,570
明細件数(単位:件)	68,001

(参考:2023年度)

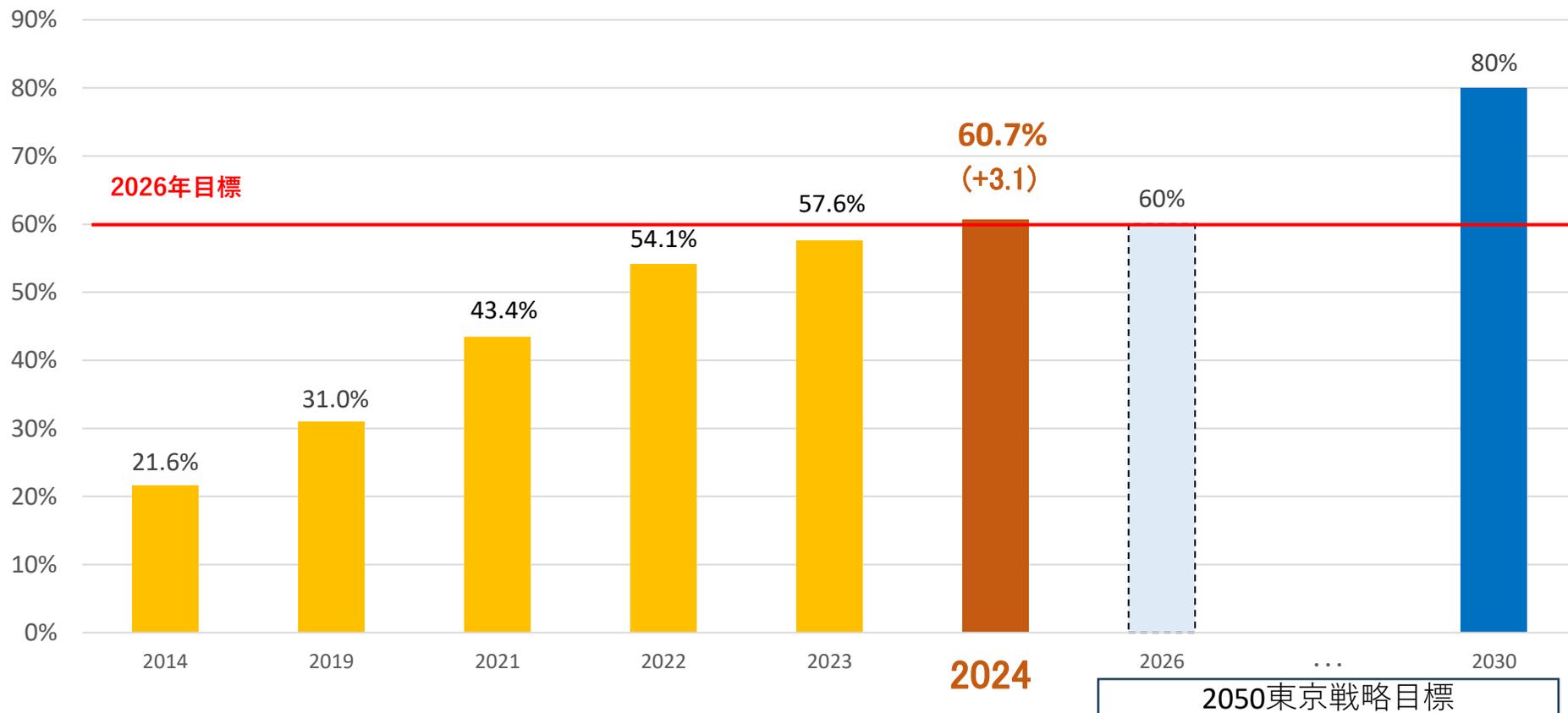
回答者数(単位:人)	4,373
明細件数(単位:件)	64,037

# 1. キャッシュレス決済比率

---

# 都内キャッシュレス決済比率の推移(金額ベース)

- 2024年度の都内におけるキャッシュレス決済比率は**60.7%**（前年比**+3.1%**）となり、引き続き堅調に上昇

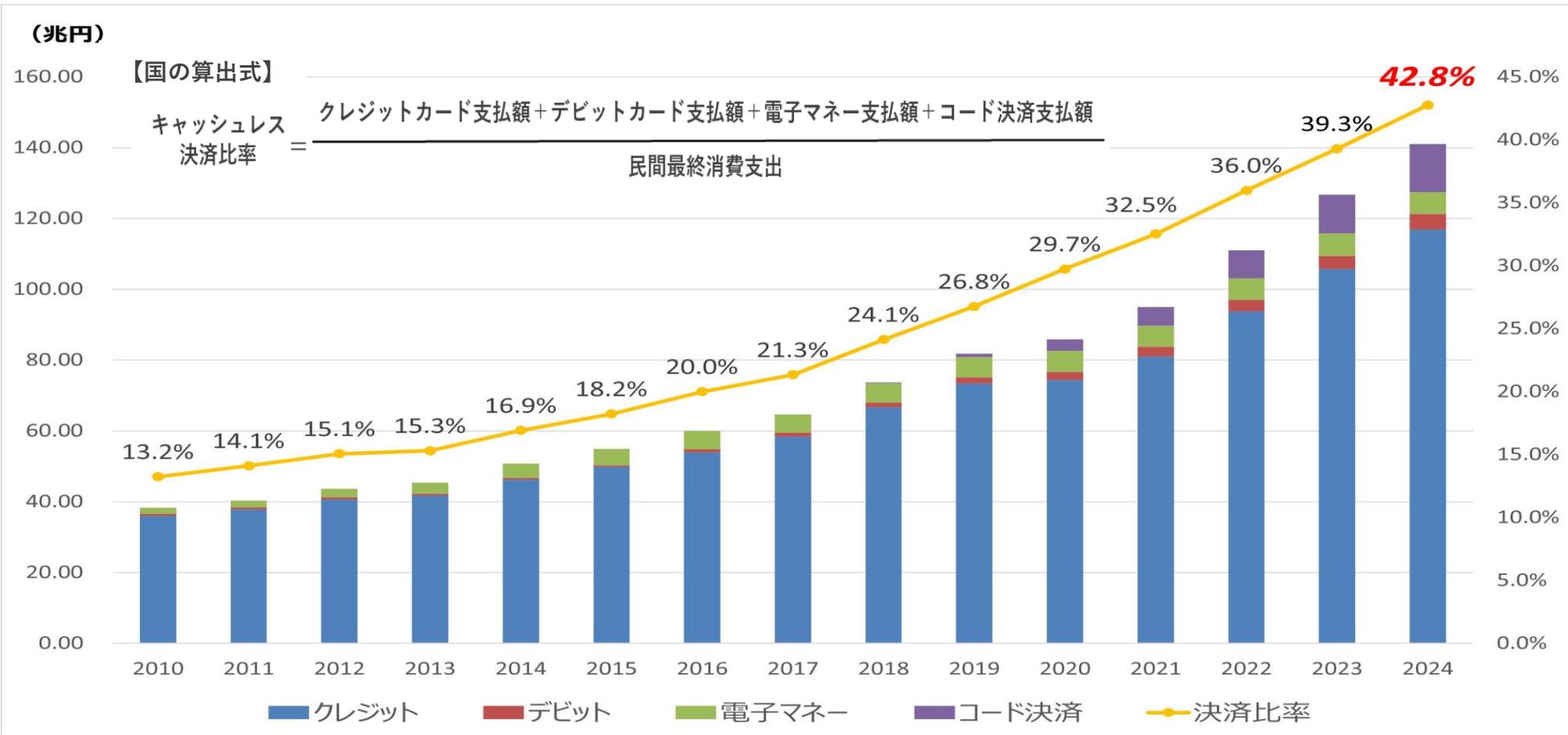


※2021年以前の実績値は、今回とは異なる方法で算出されていることに留意が必要

- 出所 2014年実績： 経済産業省「平成26年度商業統計 第2巻第5表」 調査方法：①調査員調査方式、②本社等一括調査方式  
2019年実績： 総務省「家計構造調査」 調査方法：①インターネット回答、②調査員に提出、③郵送により提出（都道府県調査は②のみ）  
2021年実績： 「都内のキャッシュレス推進に関する調査分析」 調査方法：訪問留置調査  
2022年実績： 「都内のキャッシュレス決済比率の算出及びキャッシュレス推進に関する調査分析」 調査方法：ネットアンケート調査  
2023年実績： 「都内のキャッシュレス決済比率の算出等に関する調査分析」 調査方法：ネットアンケート調査  
2024年実績： 「都内のキャッシュレス決済比率の算出等に関する調査分析」 調査方法：ネットアンケート調査

# (参考) 全国のキャッシュレス決済比率(金額ベース)

● **経済産業省**が公表した2024年における全国のキャッシュレス決済比率(金額)は**42.8%**(前年比**+3.5%**)  
 ⇒ 都の調査と異なる方法で算出されているが、**キャッシュレス決済比率の直近1年の伸びは、全国と都で同程度**  
 (都内のキャッシュレス決済比率の2023年度から2024年度の伸び: +3.1%)

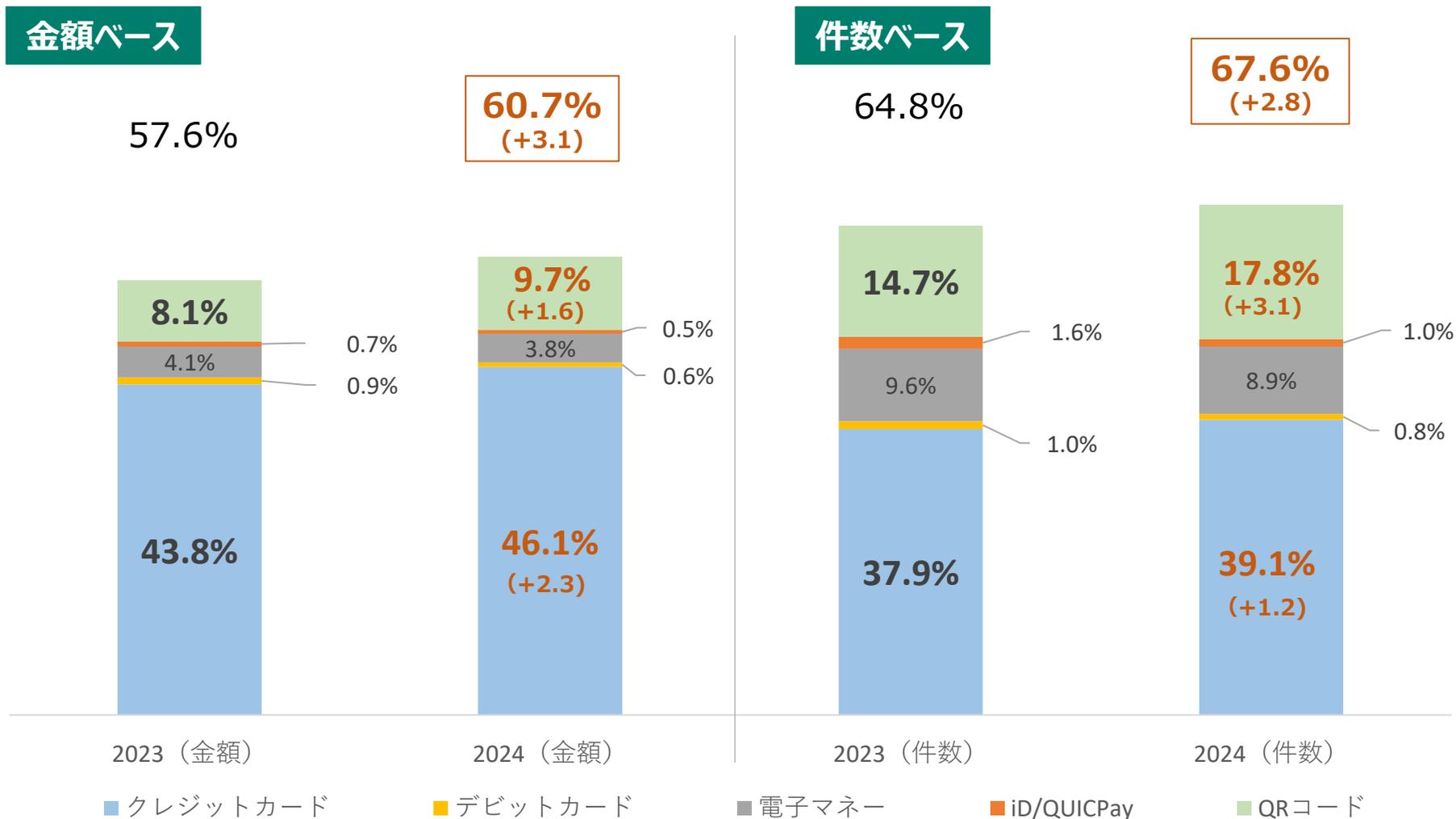


出所 経済産業省ニュースリリース (2025年3月31日) 「2024年のキャッシュレス決済比率を算出しました」

(<https://www.meti.go.jp/press/2024/03/20250331005/20250331005.html>)

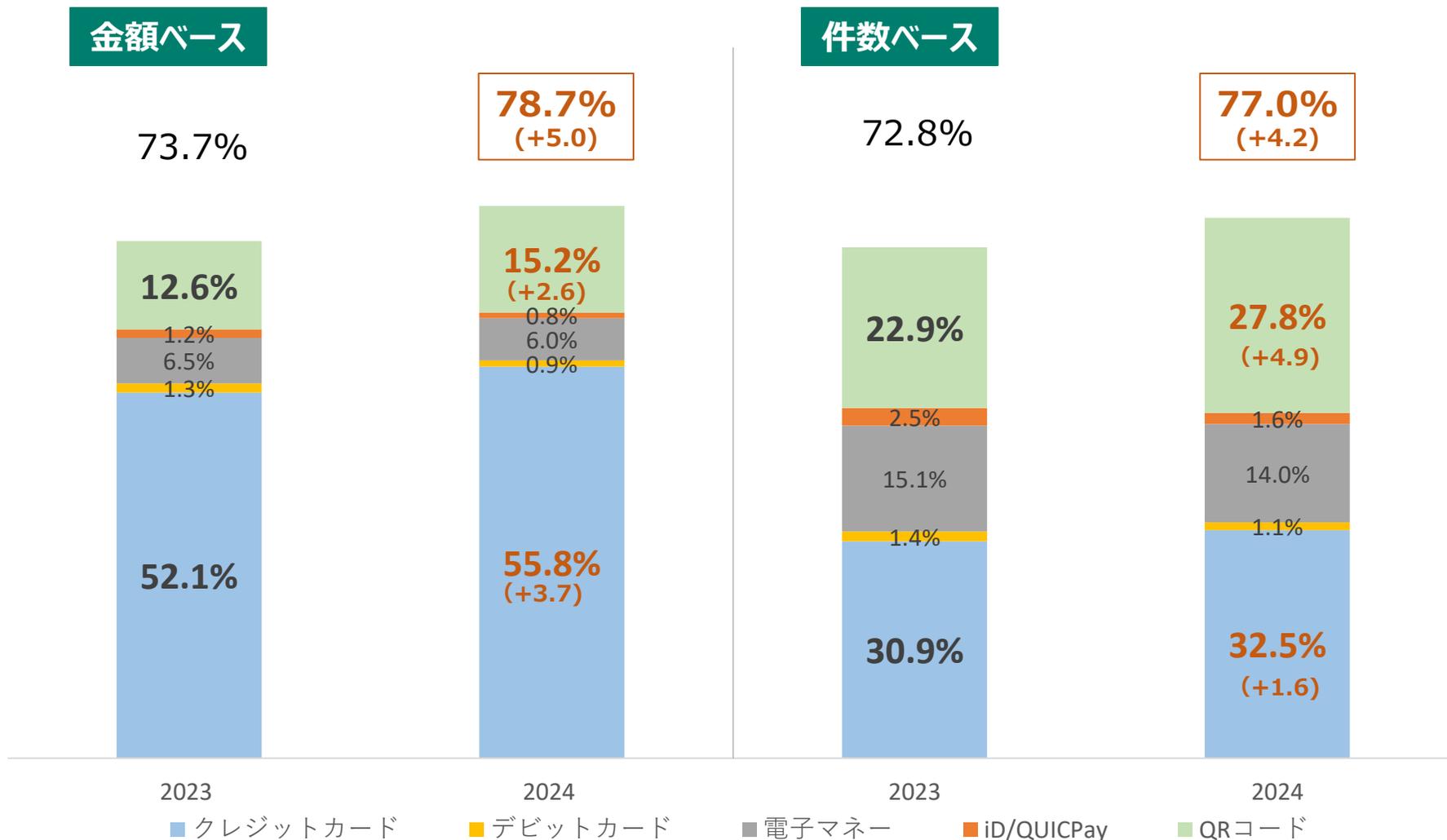
# 調査結果：都内キャッシュレス決済比率

- 都内のキャッシュレス決済比率は、金額ベースで**60.7%**、件数ベースで**67.6%**
- 金額、件数ともに**クレジットカード**及び**QRコード**の上昇が全体の比率を押し上げている



# 結果詳細① 日常的な支払におけるキャッシュレス決済手段の内訳

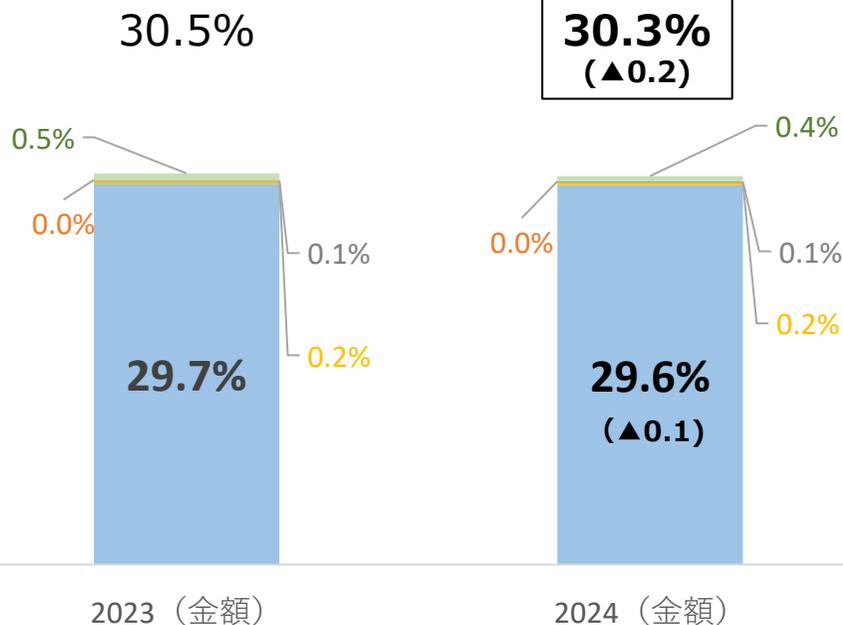
- 日常的な支払では、**78.7%**(金額ベース)、**77.0%**(件数ベース)がキャッシュレス決済
- 決済手段としては、金額、件数ともに**クレジットカード**、**QRコード**の順に高く、**金額はクレジットカード**、**件数はQRコードの伸びが大きい**



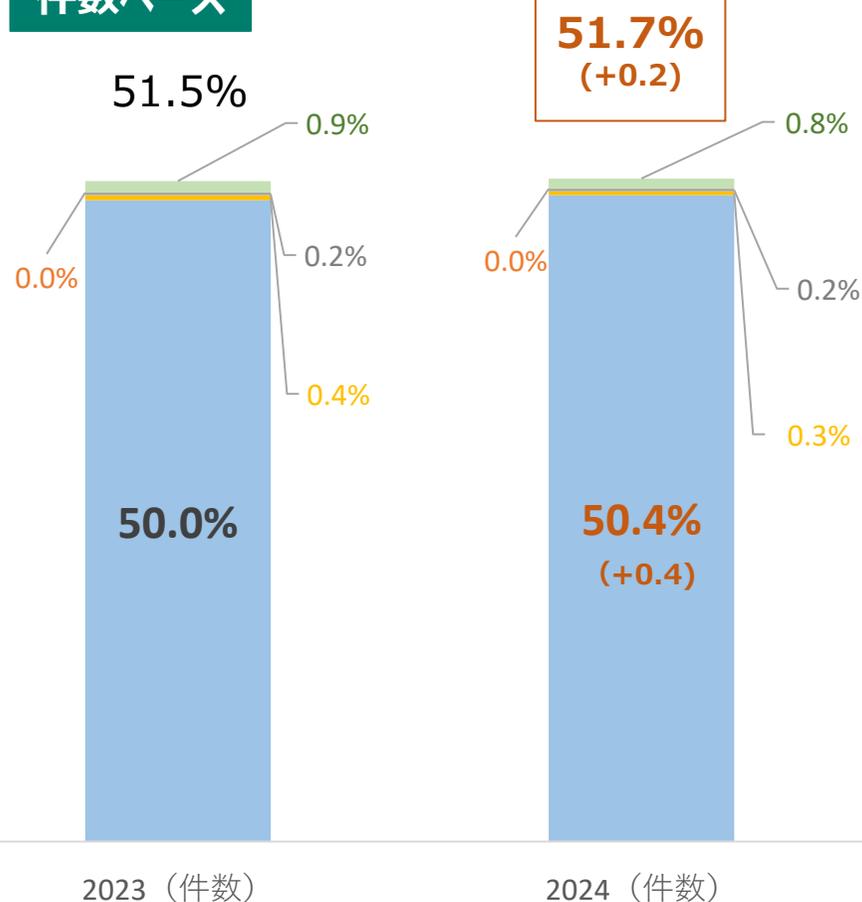
## 結果詳細② 定期的な支払におけるキャッシュレス決済手段の内訳

- 定期的な支払では、**30.3%**(金額ベース)、**51.7%**(件数ベース) がキャッシュレス決済
- 決済手段としては、金額、件数ともにほぼ**クレジットカード**が占める  
(銀行振込や口座振替はキャッシュレス決済に含まれていない点に留意)

### 金額ベース



### 件数ベース

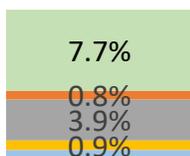


# 結果詳細③ 地域別のキャッシュレス決済比率(金額)と決済手段の内訳

- 金額ベースでは、区部**60.1%**、市町村部**62.2%**がキャッシュレス決済
- 区部では**QRコード**の決済比率が上昇。市町村部では**クレジットカード**での決済比率の伸びが顕著

## 区部

58.1%



2023区部

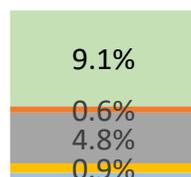
**60.1%**  
(+2.0)



2024区部

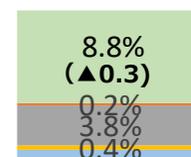
## 市町村部

56.9%



2023市町村部

**62.2%**  
(+5.3)



2024市町村部

■ クレジットカード ■ デビットカード ■ 電子マネー ■ iD/QUICPay ■ QRコード

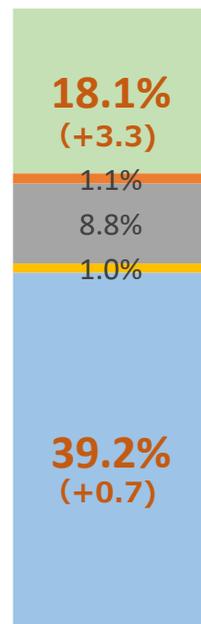
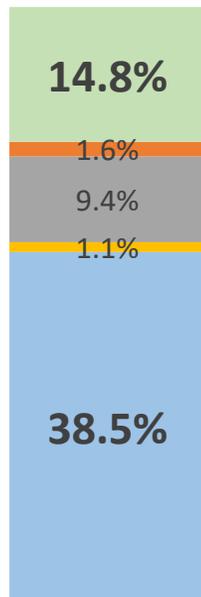
## 結果詳細④ 地域別のキャッシュレス決済比率(件数)と決済手段の内訳

- 件数ベースで区部**68.2%**、市町村部**66.5%**がキャッシュレス決済
- 区部は**QRコード**、市町村部は**クレジットカード**と**QRコード**での決済比率が上昇

### 区部

65.4%

**68.2%**  
(+2.8)



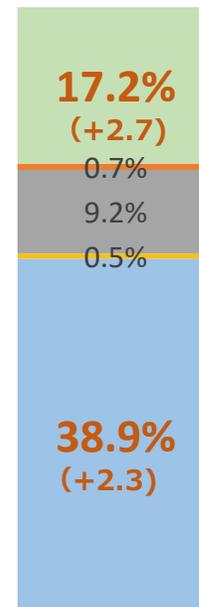
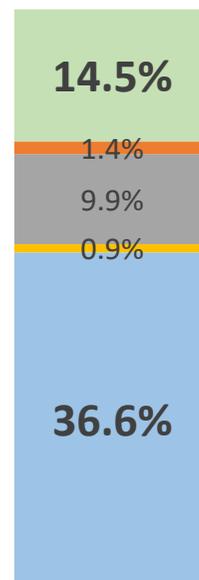
2023区部

2024区部

### 市町村部

63.3%

**66.5%**  
(+3.2)

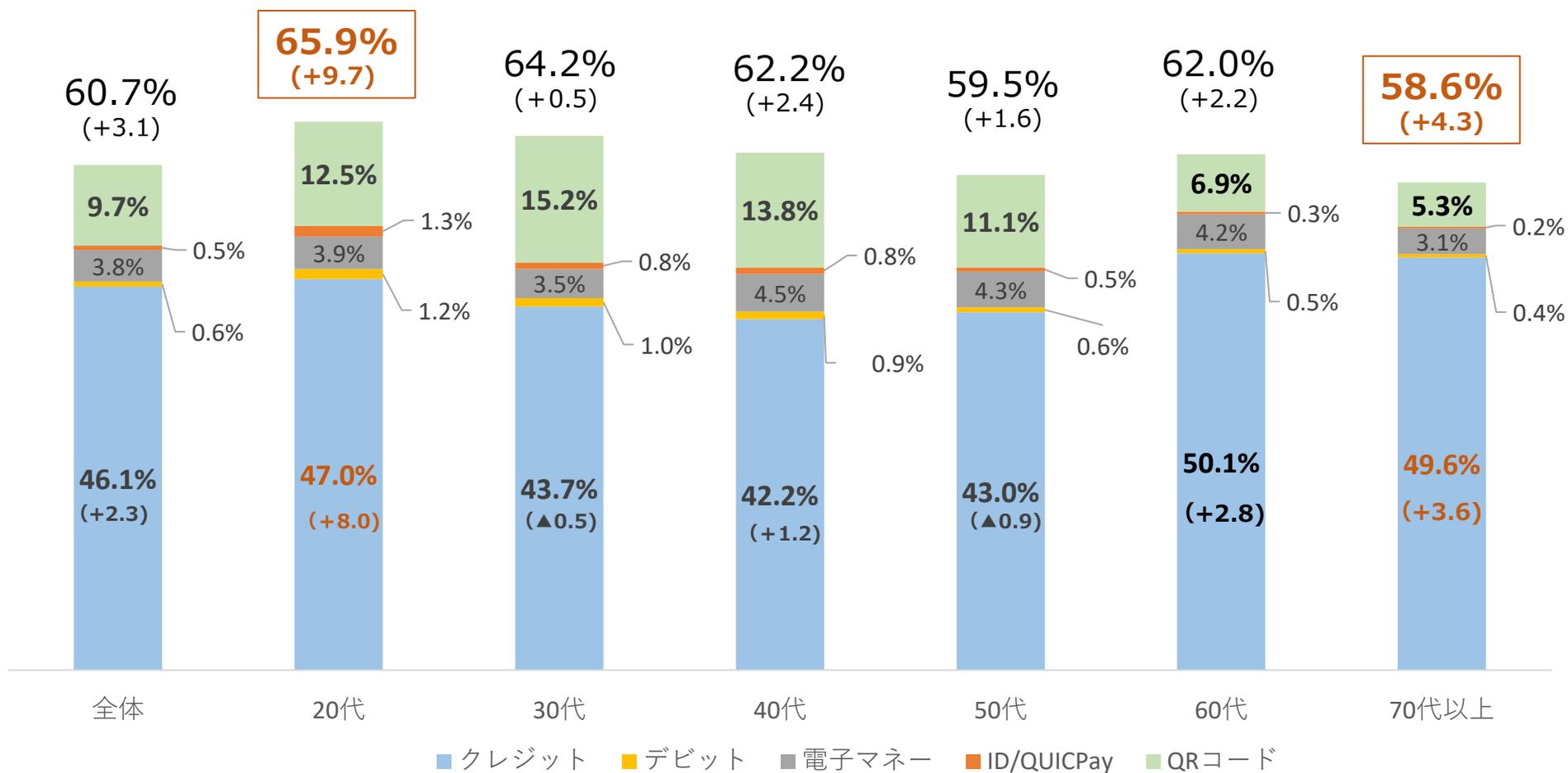


2023市町村部

2024市町村部

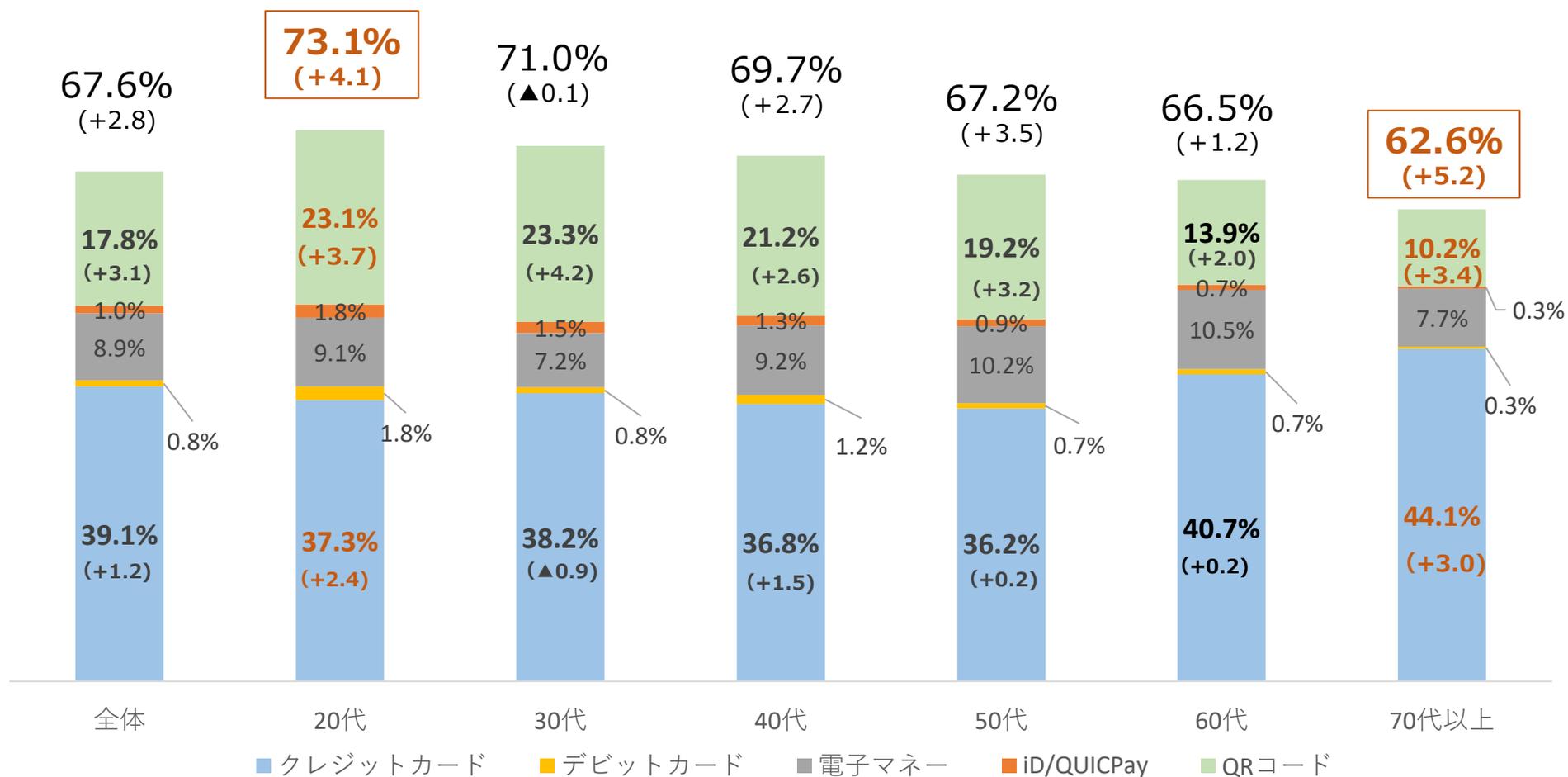
# 結果詳細⑤ 年代別のキャッシュレス決済比率(金額)と決済手段の内訳

- **20代**のキャッシュレス決済比率が**65.9%**と最も高く、伸びも大きい
- **70代以上**も**クレジットカード**による決済が牽引する形で同比率は**58.6%**まで上昇
- 決済手段別では、年代を問わず**クレジットカード**、**QRコード**の順に利用率が高くなっている



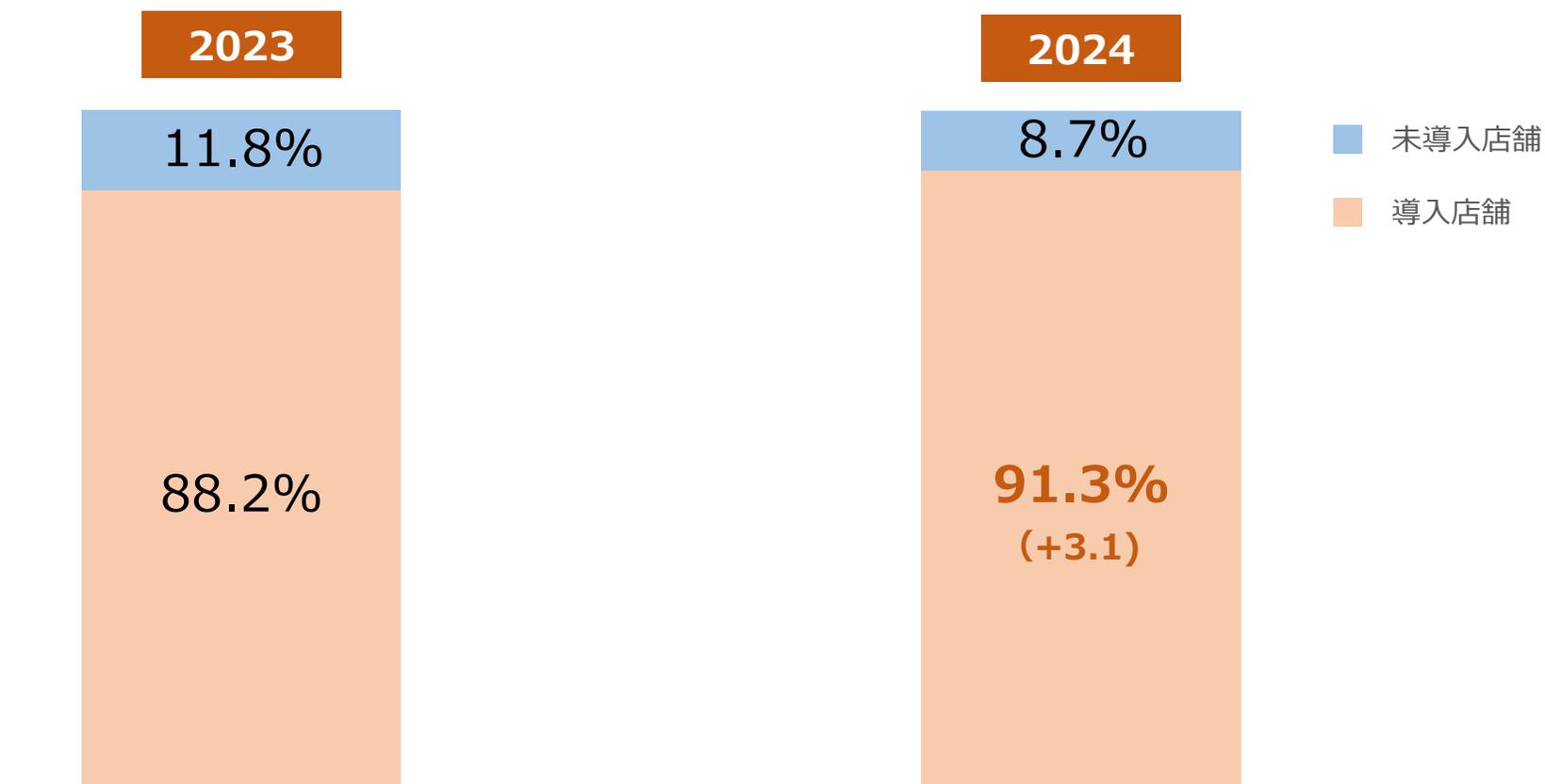
## 結果詳細⑥ 年代別のキャッシュレス決済比率(件数)と決済手段の内訳

- **20代**のキャッシュレス決済比率が**73.1%**と最も高く、年代の上昇とともに低下する傾向みられるが、**70代以上**の同比率の伸びは他の年代に比べて大きい
- 決済手段別では、年代を問わず**クレジットカード**、**QRコード**の順に利用率が高くなっている



## 結果詳細⑦ 店舗等でのキャッシュレス導入状況

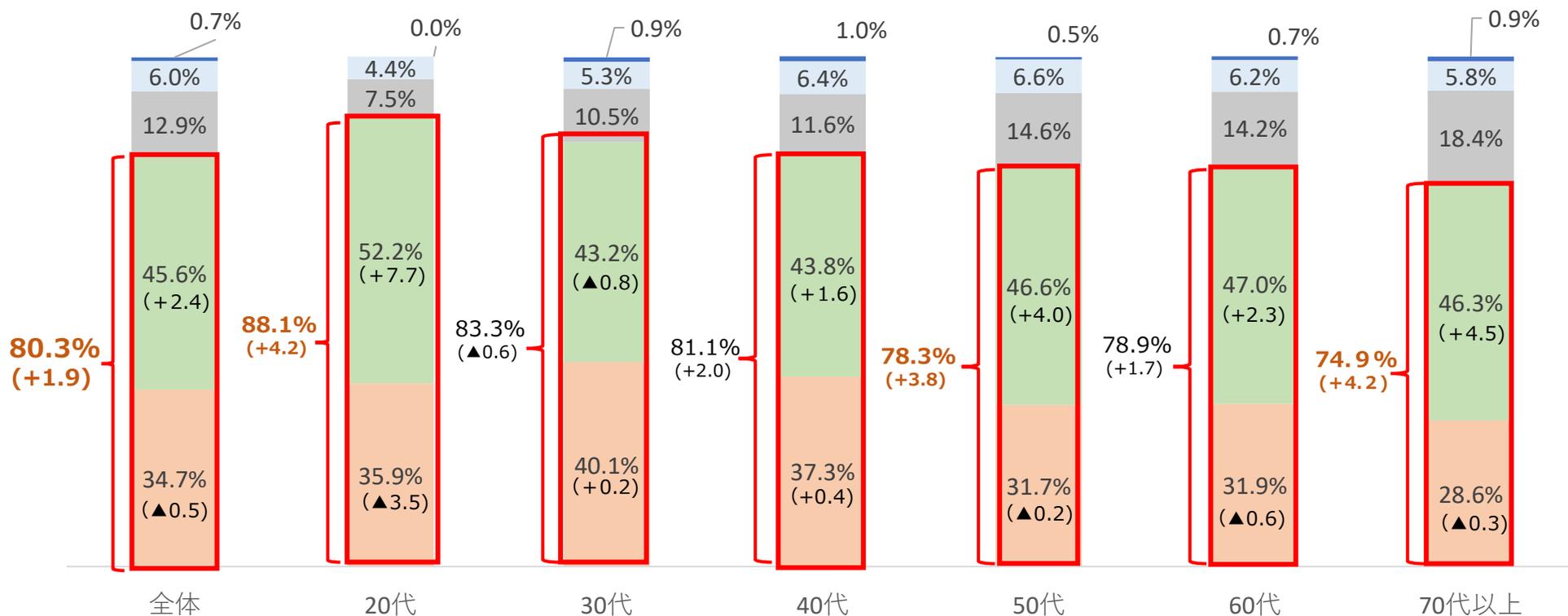
- 店舗等での決済において、キャッシュレス決済が利用できる割合が初めて **9割超**となった
- 店舗等でのキャッシュレス導入が更に進んでいる可能性



※ アンケート調査において、日常的な支払の明細ごとにキャッシュレス決済の利用可否を調査し、その結果から算出。  
上記のグラフは、回答者の居住地域別で整理しているため、各地域の店舗等のキャッシュレス導入割合には必ずしも一致しない。

# 結果詳細⑧ キャッシュレスに関する利用意向（年代別）

- **キャッシュレス派**（「どんな金額・場所等でもキャッシュレスで支払いたい」+「どちらかというともキャッシュレスで支払いたい」）の割合は8割を超え、特に20代における割合が大きい
- 昨年度と比較すると**20代、50代、70代以上**のキャッシュレス決済の利用意向の伸び率が大きい



■ どんな金額・場所等でもキャッシュレスで支払いたい  
■ どちらともいえない  
■ どんな金額・場所等でも現金で支払いたい

■ どちらかというともキャッシュレスで支払いたい  
■ どちらかというとも現金で支払いたい

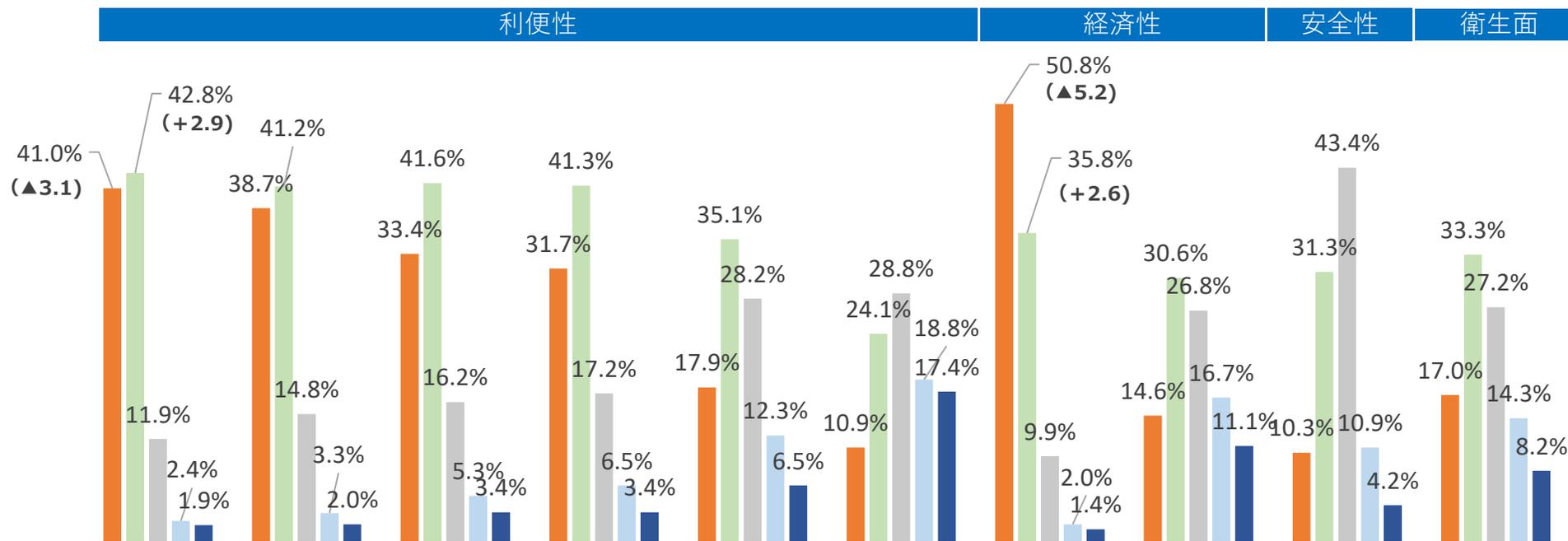
## 2. 補足（キャッシュレスに関する意識調査の結果）

---

# 補足① キャッシュレス決済を利用する理由

- キャッシュレスを利用する主な理由として、昨年度と同様、素早く決済ができるなどの**利便性の良さ**やポイントが貯まるなどの**経済性の高さ**が選択されている

■ かなり当てはまる   
 ■ やや当てはまる   
 ■ どちらともいえない   
 ■ あまりそう思わない   
 ■ 全くそう思わない



素早く決済ができるから

インターネット上での支払いが簡単にできるから

現金を引き出す手間や手数料がかからないから

大量の現金を持ち歩く必要がなく、財布がかさばらないから

利用履歴がデータとして残るため、家計の管理が楽だから

割り勘機能や個人間送金の機能が便利だから

ポイントが貯まったり割引を受けたりして、お得であるから

よく利用する店舗の会員カードとしても利用しているから

不正利用など万が一の補償がしっかりしているから

現金を触らず衛生的だから

## 補足② キャッシュレス決済を利用する理由（海外都市比較）

- 海外3都市において、キャッシュレス決済を利用する理由を調査。どの都市においても、決済の**利便性**やポイント還元といった**経済性**が多く挙げられ、**東京都と同じ傾向となった**

海外都市調査：韓国、香港、シンガポールに居住する20歳以上の個人に対して2025年1月15日～1月28日まで調査を実施。各都市504サンプル回収

韓国(99.0%)		※括弧内は韓国のキャッシュレス決済比率
No.1	83.3%	ポイントが貯まったり割引を受けたりして、お得であるから
No.2	78.8%	大量の現金を持ち歩く必要がなく、財布がかさばらないから
No.3	78.8%	素早く決済ができるから

香港(83.5%)		※括弧内は中国のキャッシュレス決済比率
No.1	85.2%	素早く決済ができるから
No.2	84.3%	ポイントが貯まったり割引を受けたりして、お得であるから
No.3	82.1%	インターネット上での支払いが簡単にできるから

シンガポール(65.6%)		※括弧内はシンガポールのキャッシュレス決済比率
No.1	84.7%	素早く決済ができるから
No.2	81.1%	大量の現金を持ち歩く必要がなく、財布がかさばらないから
No.3	80.1%	インターネット上での支払いが簡単にできるから

東京都(60.7%)		※括弧内は都のキャッシュレス決済比率
No.1	86.6%	ポイントが貯まったり割引を受けたりして、お得であるから
No.2	83.8%	素早く決済ができるから
No.3	79.9%	インターネット上での支払いが簡単にできるから

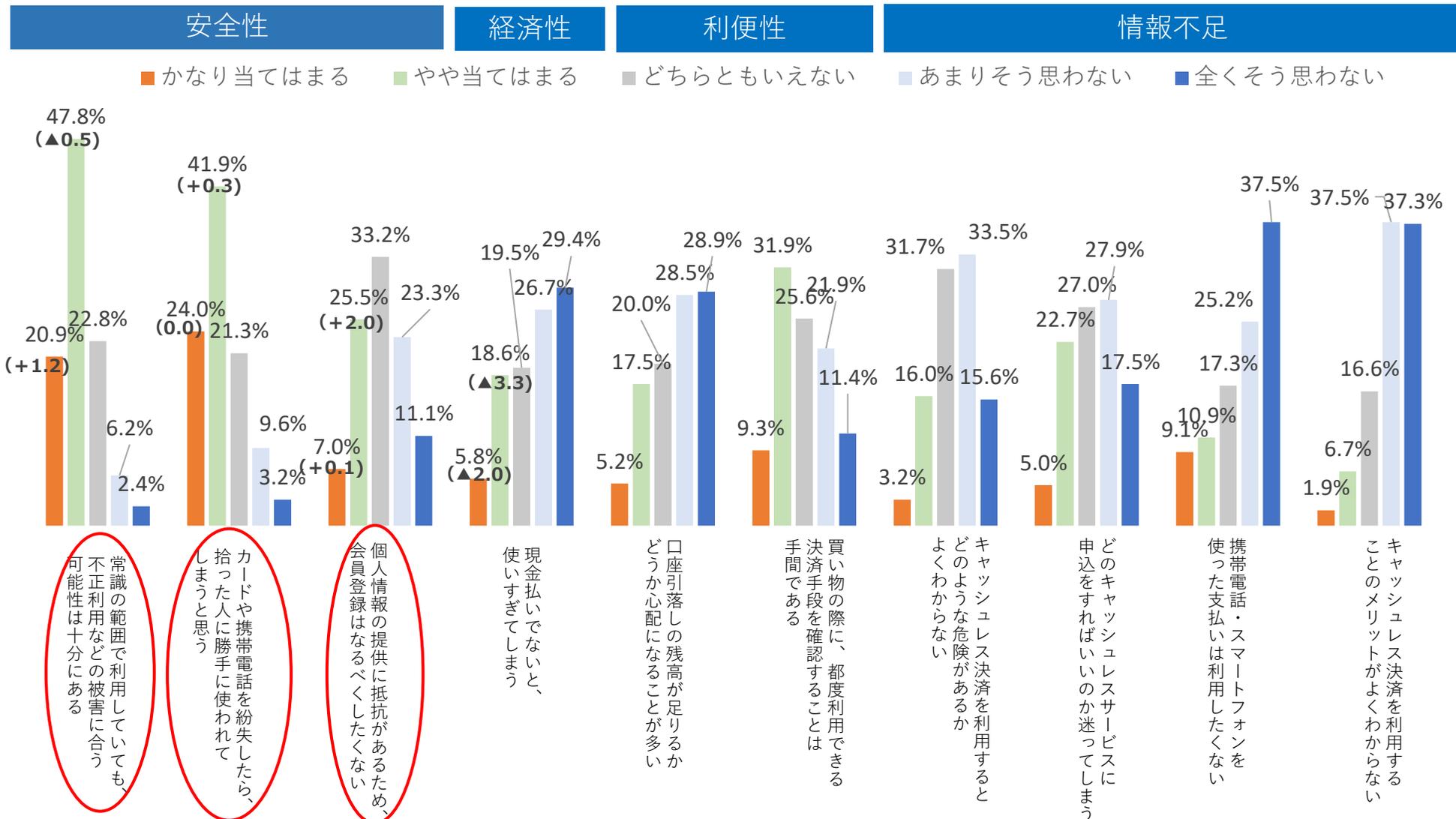
海外都市のキャッシュレス決済比率

出典：世界銀行「Household final consumption expenditure(2022年(2023/6/28版))」 BIS「Redbook」の非現金手段による年間支払金額から算出

※韓国、中国に関しては、Euromonitor Internationalより参考値として記載

# 補足③ キャッシュレス決済を利用しない理由

- キャッシュレスを利用しない理由は、昨年度と同様、不正利用に対する不安や個人情報を提供することに対する抵抗感がある



## 補足④ キャッシュレス決済を利用しない理由（海外都市比較）

- 海外3都市において、キャッシュレス決済を利用しない理由についても調査
- いずれの都市も**不正利用への懸念**が理由の1位、2位に。3位の理由について、海外3都市は、**使いすぎへの懸念**となった一方、都内では**決済手段の確認の手間**がランクイン

### 韓国(99.0%)

※括弧内は韓国のキャッシュレス決済比率

No.1	53.2%	カードやスマートフォンを紛失したら、 拾った人に勝手に使われてしまうと思う
No.2	48.6%	常識の範囲で利用していても、不正利用 などの被害に合う可能性は十分にある
No.3	46.6%	現金払いでないと、使いすぎてしまう

### 香港(83.5%)

※括弧内は中国のキャッシュレス決済比率

No.1	52.4%	カードやスマートフォンを紛失したら、 拾った人に勝手に使われてしまうと思う
No.2	48.8%	常識の範囲で利用していても、不正利用 などの被害に合う可能性は十分にある
No.3	43.8%	現金払いでないと、使いすぎてしまう

### シンガポール(65.6%)

※括弧内はシンガポールの  
キャッシュレス決済比率

No.1	55.4%	カードやスマートフォンを紛失したら、 拾った人に勝手に使われてしまうと思う
No.2	43.3%	常識の範囲で利用していても、不正利用 などの被害に合う可能性は十分にある
No.3	43.1%	現金払いでないと、使いすぎてしまう

### 東京都(60.7%)

※括弧内は都のキャッシュレス決済比率

No.1	68.7%	常識の範囲で利用していても、不正利用 などの被害に合う可能性は十分にある
No.2	65.9%	カードやスマートフォンを紛失したら、 拾った人に勝手に使われてしまうと思う
No.3	41.2%	買い物の際に、都度利用できる決済手段 を確認することは手間である

海外都市のキャッシュレス決済比率

出典：世界銀行「Household final consumption expenditure(2022年(2023/6/28版))」 BIS「Redbook」の非現金手段による年間支払金額から算出

※韓国、中国に関しては、Euromonitor Internationalより参考値として記載

## 補足⑤ 訪日時に不便だと感じた経験について(海外在住者のみ,自由回答)

- 自国と比較して、**多様なキャッシュレス決済手段に対応していない点**や、**小銭の管理**等が不満要因として多い傾向 ※ 回答者の訪日時期については確認していない点に留意
- 都内でのキャッシュレス導入店舗が増加傾向にある一方で、訪日外国人からは現金の対応が中心であるとの声があり、ギャップがある

### シンガポール

- **硬貨の種類が多すぎて持ち歩いて支払うのが面倒**
- 自分が普段利用している決済方法が利用できない
- 古い店舗では設備が更新されておらず、非接触決済に対応していない

### 韓国

- **現金決済が主流で、不便に感じる場面が多かった**
- クレジットカードが使えない場合、現金以外の選択肢がなかった
- **現金払い後の小銭の受け取りが煩わしかった**
- **現金の持ち歩きや小銭の管理・紛失が避けられず煩わしかった**

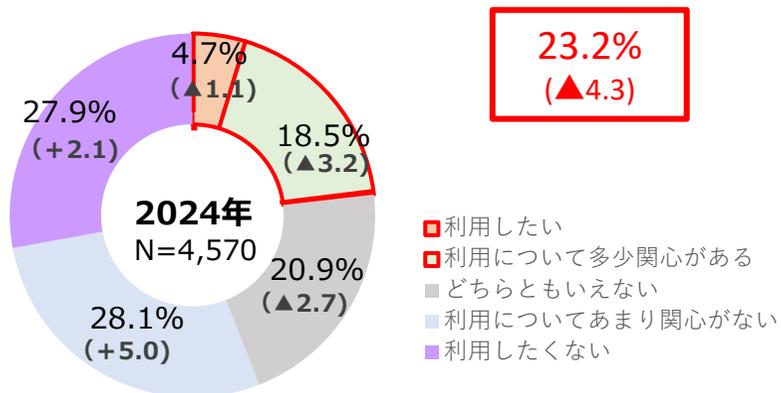
### 香港

- 電子決済にあまり慣れていない
- **多くの紙幣や硬貨を数える手間がかかる**
- **小銭を用意するのが面倒**
- 高額決済ができず、不便
- 店舗の決済手段が限られており、支払方法が煩雑

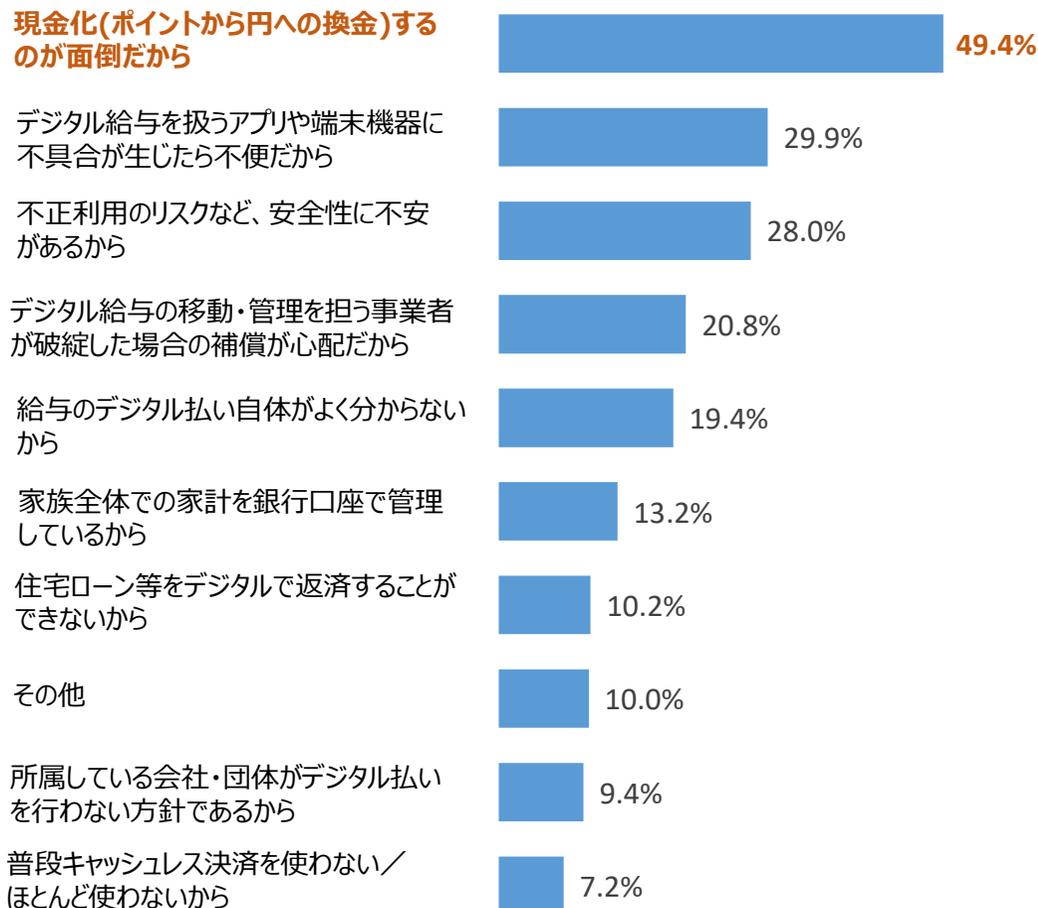
# 補足⑥ 給与のデジタル払い

- 給与のデジタル払いに関する関心度は2割強となり昨年度より低下
- 関心がない・利用したくない理由として、「**現金化するのが面倒だから**」を選択した回答者は約半数

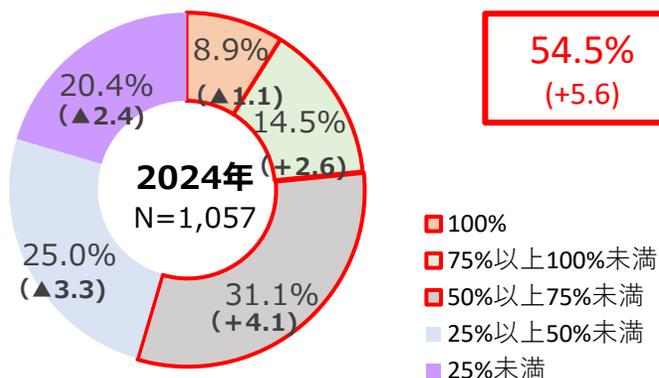
## ■ 給与のデジタル払いに関する関心



## ■ 給与のデジタル払いに関心がない・利用したくない理由 ※複数選択可



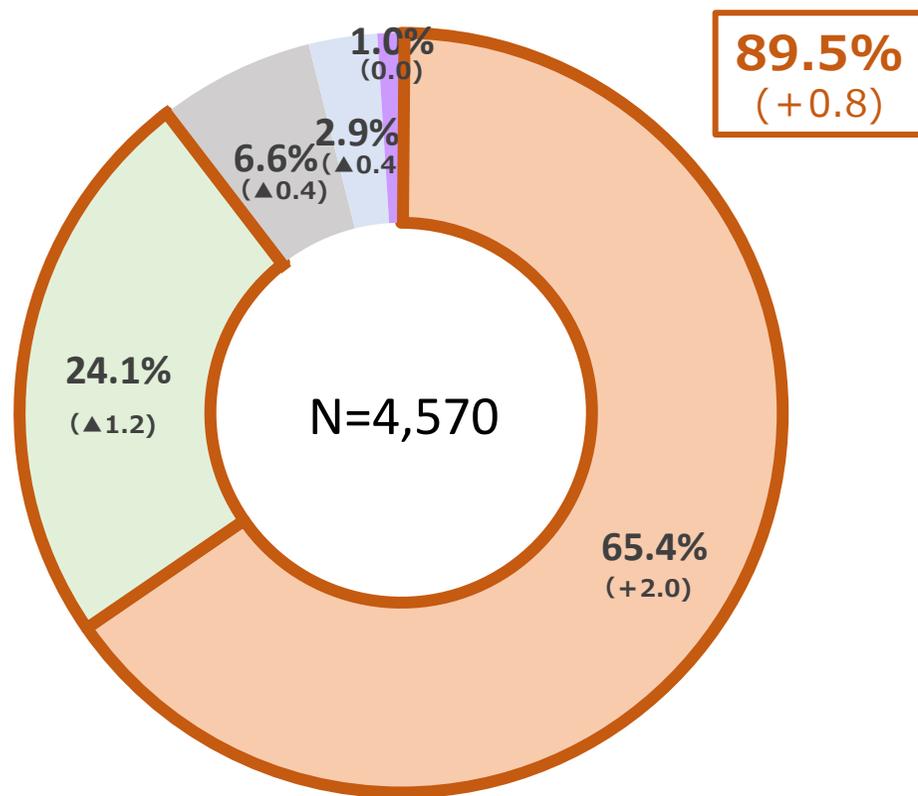
## ■ 給与のデジタル払いを利用するとしたら何%チャージしたいか (関心がある方だけ)



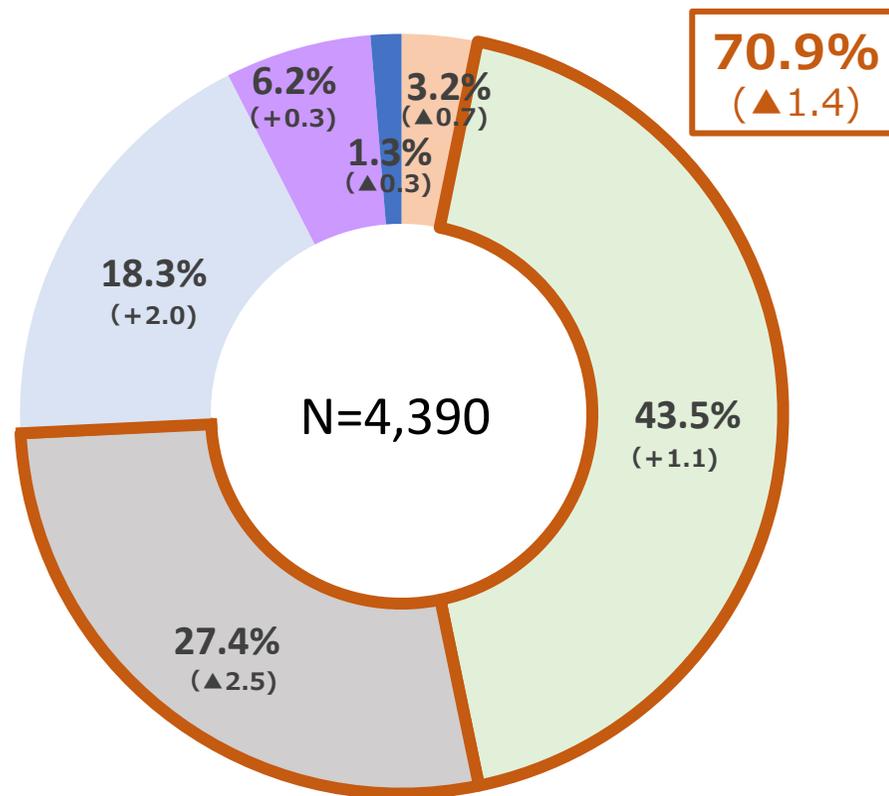
## 補足⑦ 決済後のレシートの受取状況について

- レシートについて、「毎回」または「ほぼ受け取っている」と回答した割合は**約9割**に上ったが、レシートを受け取る回答者のうち、**約7割**が内容を確認することなく、または内容を確認した後で処分している

### ● 決済後のレシートの受取状況



### ● レシート受取後の行動



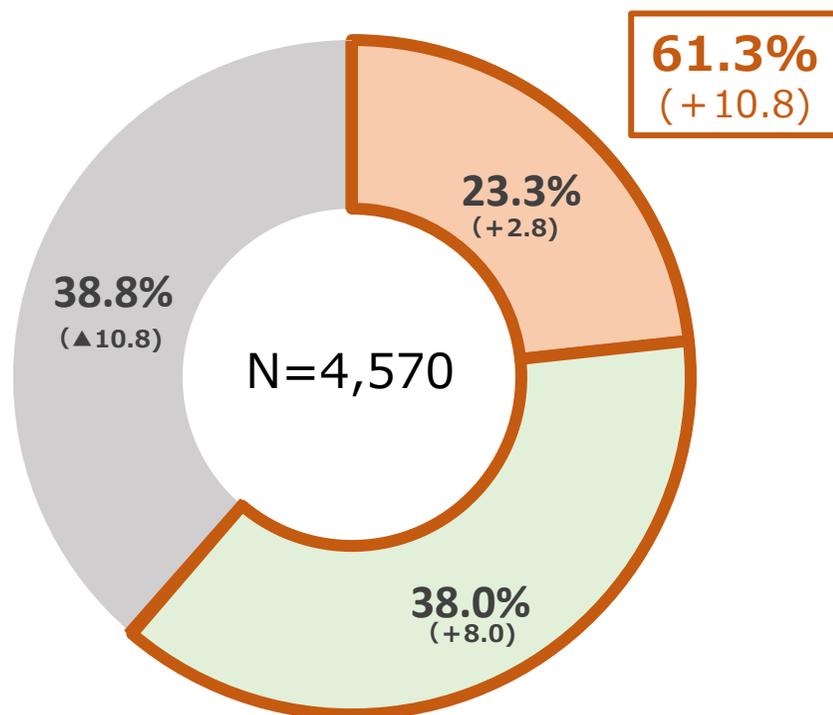
■ 毎回受け取っている   
 ■ ほぼ受け取っている   
 ■ 時々受け取っている  
■ ほぼ受け取っていない   
 ■ 毎回受け取っていない

■ 内容を確認することなく、処分する   
 ■ 内容を確認した後で処分する  
■ 家計簿等に記録した後で処分する   
 ■ 返品対応等に備えて一定期間保存する  
■ とりあえず期間を決めずに保存する   
 ■ その他

## 補足⑧ 電子レシートの認知・利用意向について

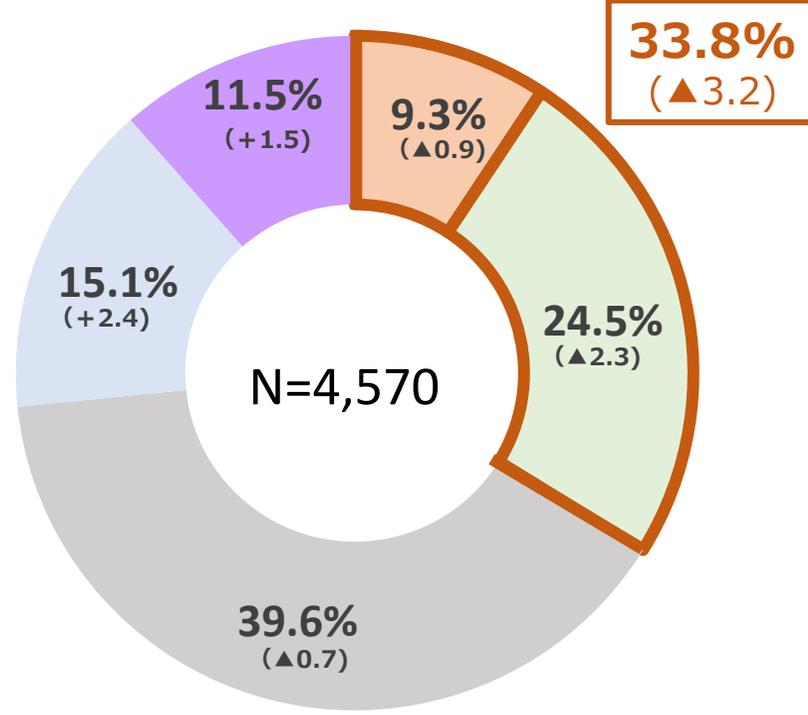
- 電子レシートの**認知度は**昨年度の調査から**10%以上上昇**したが、**利用経験者の割合の伸びは3%弱に留まる**。利用意向がある割合は**34%程度で微減**

### ● 電子レシートの認知・使用経験



- 知っているし、使ったことがある
- 知っているが、使ったことはない
- 知らない

### ● 電子レシートの使用意向



- とても使用してみたい
- どちらかといえば使用してみたい
- どちらともいえない
- どちらかといえば使用してみたくない
- まったく使用してみたくない